

子育て&働く…そして、結び目になる ～地域の子育て拠点としての価値を作る～

開催日 令和2年 **12月4日(金)** 13:30～16:00 (13:00～受付開始)

場所 エスポワールいわて (盛岡市中央通1丁目1-38)

参加対象 企業および施設の経営者・人事労務担当者、一般労働者、行政関係者、その他、ワーク・ライフ・バランスに興味のある方等

スケジュール

13:00 受付開始
13:30 開会
13:35 第一部:講演
14:40 第二部:パネルディスカッション
15:40 行政説明
16:00 閉会

**参加
無料**

定員 100名 (先着順)

申込方法 F A X・Eメールによる事前申し込み
(定員になり次第締め切り)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、内容を一部変更する可能性もございます。その際は、財団のホームページでお知らせ致します。

[第一部] 講演 講師 **佐伯 美智子氏** (合同会社 MUKU 代表)
演題 **子連れ出勤 × 介護は一石三鳥だった！**
～赤ちゃんがいる介護現場むくの取り組み～

「子連れ出勤大歓迎！」で始めた介護現場むく。始めた時は、まさにカオス！
子どもの泣き声に、バタバタと走り回る足音。
「こらっ！静かにしなさい！」と子どもを叱るお爺ちゃんがいれば、「こっちにおいで」と優しく声をかけるお婆ちゃんもいる。
昔見た、どこか懐かしい光景。
「子連れ出勤と赤ちゃんボランティア」それはお年寄りを元気にする何よりの薬であり、母親の社会参加でもあり、何より現場にはなくてはならない「あたり前」になった。



■プロフィール

1995年より約20年間、高齢者病院や高齢者施設で作業療法士として勤務。
2015年～ NPO 法人ママの働き方応援隊唐津校代表、Share！鏡代表等、福祉や町づくり、子育て支援に関する活動に従事。
2015年12月、三男が生後3か月の時(育休中)に起業を決意し、翌月合同会社 MUKU を設立。2017年に子供と高齢者が共に同じ空間を過ごす、赤ちゃんがいる高齢者事業所「看護小規模多機能むく」を開設。現在、高齢者シェアハウスと障がい児等が通う放課後等デイサービスを合体させた複合施設を2021年の開設に向けて準備中。

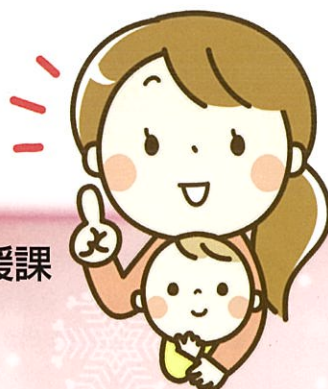
[第二部] パネルディスカッション 「岩手でもやってみよう!!」

第一部の講演に続き、コメンテーターとして佐伯さんにご参加いただき、「むく」の取り組みについて、岩手での展開可能性を検討します。既に同様の取り組みを行っている仙台「アンダンチ」福井さん、岩手での展開を模索する盛岡「第二のわが家」西館さん、子育てをするワーキングマザー庄司さん、それぞれの立場から「岩手でもやってみよう!!」について意見を出し合いたいと思います。コーディネーターは、専門家の柏葉英美さんです。

パネリスト 西館 淳也 氏 (NPO法人第二のわが家 理事長)
福井 大輔 氏 (株式会社未来企画 代表取締役)
庄司 知恵子 氏 (岩手県立大学社会福祉学部 准教授)

コメンテーター 佐伯 美智子 氏 (合同会社MUKU 代表)

コーディネーター 柏葉 英美 氏 (岩手県立大学社会福祉学部 准教授)



**お申込・
お問合せ先**

(公財)いきいき岩手支援財団 総務・健康支援課

盛岡市本町通三丁目 19-1 岩手県福祉総合相談センター3階

TEL 019-626-0196 FAX 019-625-7494

E-Mail : wlb@silverz.or.jp